**「書き下し整形」機能について**

「書き下し整形」は、漢文の書き下し文書の「ひらがな」をカタカナに変換し、なおかつ、小さい文字にして右寄せする機能です。漢文を基本としておりますので、縦書文書専用です。

* 整形前の文章にひらがなとカタカナが混在していても同じ結果になります。
* カナの文字サイズと右寄せの度合いは元の文字の大きさに応じて調整できます。

この機能は「Ｑ漢字+ for Word 2013」に統合され、マイクロソフトオフィス　ワード２０１３で動作します。

　例

或が云く、大般若経の心要を略出するが故に心と名づく。是れ別会の説にあら不と云々。所謂龍之蛇鱗有るが如し。

このような文書を左図のように整形します。

或ガ云ク、大般若経ノ心要ヲ略出スルガ故ニ心ト名ヅク。是レ別会ノ説ニアラ不ト云々。所謂龍之蛇鱗有ルガ如シ。

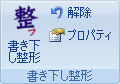
**●使い方**

**○整形**

整形したい文章を選択状態にします。

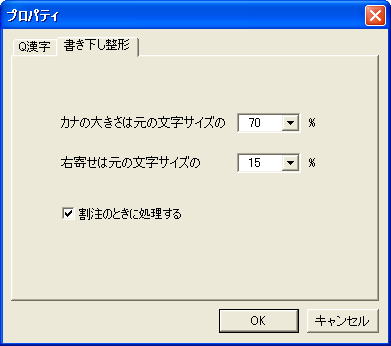
下図の「整フ」ボタンをクリックすると文章が整形されます。

**○カナの大きさなどの微調整**

「プロパティ」ボタンをクリックすると、下図のようなダイアログがでます。

カナの大きさは、元の文字サイズの何％かで指定します。元の文字サイズが20ポイントで、この数値が50％ならば、カナのサイズは10ポイントになります。

右寄せの数値も、元の文字サイズの何％かで指定します。元の文字サイズが20ポイントで、この数値が20％ならば、４ポイント右に寄せることになります。



「割注のときに処理する」にチェックを入れると、元の文書に割注があった場合に、割注の中の文書も整形します。

数値を調整して「OK」ボタンをクリックすると、次の整形の時に反映されます。

* ダイアログを出す前に、整形したい文章を選択状態にしておくと、「OK」ボタンをクリックした直後に、調整した数値で再整形されます。
* 微調整はかならず表示モードを「印刷レイアウト」にて行ってください。「下書き」ですと正しく表示されないようです。

**○整形解除**

「解除」ボタンをクリックすると、選択範囲の文字サイズを、選択範囲中の第一文字目に合わせ、右寄せが解除されます。

* 解除といっても、カタカナをひらがなに戻すようなことはありません。したがって、完全に元に戻る訳ではありませんのでご注意ください。
* 範囲を選択するときに、普通サイズの漢字が第一文字目になるように選択してください。さもなければすべてが小さい文字になってしまいます。